

2025年春「渋谷再開発協会 春季日帰り視察会」を3月14日に開催

－「横浜市旧市庁舎街区活用事業」新しい街区「BASEGATE(ベースゲート)横浜関内」に建設
みなとみらい21の街づくりの返還と今後の展望を共有－

2025年3月14日

一般社団法人渋谷再開発協会

一般社団法人渋谷再開発協会(以下、渋谷再開発協会)は、1964年の設立以来、地元(商店会・町会)、渋谷区、事業者(渋谷のまちづくりに関わる企業や団体)が三位一体となり、渋谷駅周辺地域の将来のまちづくりを検討しています。

この度、会員を対象とした、2025年3月14日「春季日帰り視察会」を開催しましたので報告します。
今後も、渋谷の将来のまちづくりに関連する最新動向などを共有し開催してまいります。

~~~~~  
<春季日帰り視察会 内容>

1. 「横浜市旧市庁舎街区活用事業」新しい街区「BASEGATE (ベースゲート)横浜関内」に建設中について
2. みなとみらい21の街づくりの返還と今後の展望
3. 交流会



~~~~~  
●「横浜市旧市庁舎街区活用事業」新しい街区「BASEGATE(ベースゲート)横浜関内」に建設中について。

三井不動産株式会社(以下「三井不動産」)を代表企業とする8社にて、「横浜市旧市庁舎街区活用事業(以下、本プロジェクト)」の街区名称を「BASEGATE 横浜関内」を視察して参りました。
今回は、開発に携わる東急株式会社、都市開発本部 プロジェクト開発事業部のご担当者に本街区の特徴的な施設である日本最大級の常設型ライブビューイングアリーナ、エデュテインメント施設、ホテル名称、オフィスや新産業創造拠点の名称や概要についてご説明いただきました。



街区全体完成予想パース(夜景イメージ)

多種多様な施設計画と旧横浜市庁舎行政棟の保存・活用により、次世代の横浜を象徴するエンターテインメント&イノベーションの拠点となる、「新旧融合」を特色とした大規模ミクストユース型プロジェクトです。

2025年12月竣工、2026年春にグランドオープンを予定しております。
とても楽しみにしております。

~~~~~  
●みなとみらい21の街づくりの返還と今後の展望

一般社団法人 横浜みなとみらい21

一般社団法人横浜みなとみらい21は、みなとみらい21地区の街づくりに係わる多様な主体が一体となってエリアマネジメントを実践することにより、当地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図り、もって活力あふれる国際文化都市・横浜の発展に寄与することを目的として設立された団体です。



今回は、これまで進められてきた、「みなとみらい21地区」の事業内容の説明と、今後の街づくりについてご説明いただきました。

■街づくり調整事業

公共空間の活用      公共空間活用委員会の推進、みなとみらいSTREET MUSICライブ開催

■環境対策事業

スマートシティの推進   エネルギー ～脱炭素先行地域   公民連携で挑戦する大都市脱炭素化モデル

■文化・プロモーション事業

多彩なイベントの実施、PR活動、ウェブや広報誌による情報発信、都市観光・MICE戦略の推進等

ビジネスエコシステム   研究開発拠点の集積、横浜未来機構の設立

都市観光 MICE      ナイトタイムエコノミー(Music port YOKOHAMA、Art&Museum)など

広範囲な「みなとみらい21」の街づくりのご説明をいただきました。

【参考】一般社団法人渋谷再開発協会 概要

1964年に前進の「渋谷再開発促進協議会」が設立され、1972年に現在の名称へ変更、2021年に一般社団法人化。渋谷駅周辺地域の将来像(ビジョン)を描き、長期的視点による都市再生の促進やまちに訪れる人々の活動のための場づくりを通して、職・住・遊における高い暮らしの質を実現し、サステイナブルな歩いて楽しいまちづくりを推進。現在、約110団体・企業が加盟し活動。

以上